

学校法人永原学園
さんこう
児童クラブ通信

令和6年1月発行
— 第10号 —

【三光幼稚園】
TEL：0952-31-0753
【さんこう児童クラブ携帯】
TEL：090-7430-1312

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

昨年1月はさんこう児童クラブの在籍者数は12名でしたが、今月は24名になりました。

年の暮れに行った不審者に対する防犯訓練の後、「本当に事件が発生した時、みんなが一致団結して無事に逃げるためにはどうしたらよいか」について考えてもらいました。センター2階の3つの部屋で各々が過ごしているので、何か工夫が必要です。

23名の子ども達にそう投げかけると、真剣な表情で考え、そして、「合言葉をつくる」「合言葉は動物がいい」「校長先生が来ました。というのはどうかな？」等々、色々な意見が出てきました。たくさん子ども達が真剣に考え、発言する場面を間近に見て、大きな精神の成長を感じました。

最近では、学校での嫌な出来事が尾を引いて児童クラブに帰ってくる子ども達も出てきました。そんな子ども達が、支援員に本音や弱音を吐けるような、アットホームなクラブにしていきたいと思えます。保護者の皆様も、学校等で何か起きた時は、是非お知らせ下さい。連携して支えていきたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。

◆ 1月のおたのしみ ◆

- 戸外活動 ○ 凧あげ
- 正月遊び（福笑い・けん玉・かるたなど）

1月の学童児童数

	在籍者数	休所者数	利用者数	そのうち 新規 入所者数	12月末 退所者数
1年生	12	0	12	0	0
2年生	11	0	11	0	0
3年生	1	0	1	0	0
計	24	0	24	0	0

児童の様子

あけましておめでとうございます(^▽^)/
今年も子どもたちが楽しめる活動を考えていきたいと思えます。今年もよろしくお願い致します♪

今回は先月に行った指編みマフラーの発展し、バッグ製作に挑戦する子どもたちの様子をお届けします☆前回マフラーを作った子どもたちから「他のも作ってみたい!」「バッグとか作ってみたい!」という声が!(^▽^)/そこで指編みでバッグ作りを紹介してみました♪

マフラーと違ってバッグはただ指で編むだけではなく、縫い物の要領で指編みしたものをくっつける工程があり、少し難しい活動でしたが、子どもたちは楽しそうに取り組み、個性的なバッグが出来上がりました♪



指編みバッグの紹介をすると・・・♪

一緒にバッグ作ろう!

こうやって編んだ毛糸をくっつけていくんだよ!

教え合う姿もありました!



ショルダーバッグにしよう!



完成!

素敵なバッグができました!◆

◇ 1月の目標 ◇

「手洗い・うがいをする!」

子どもたちは戸外活動が大好きで、冬になっても寒さに負けず体を動かして楽しく過ごす姿に私たちもパワーをもらっています♪

しかし、最近ちらほらと体調不良でお休みする子どもも増えてきました。インフルエンザなどの感染症も流行りやすくなっているため、外から帰ってきた時やおやつ・昼食の前には自ら手洗い・うがいを行って元気に過ごしていけるよう関わっていきたく思います(^▽^)/

「歯磨きは、虫歯予防だけにあらず」

西九州大学看護学部看護学科 小林幸恵

赤ちゃんの歯の生えはじめは、一般に生後6ヶ月～9か月頃とされています。最初に生えてくるのは下の前歯2本です。授乳させていて「あれ？なんか当たるぞ？」と気づかれたお母さんも多いのではないのでしょうか？私の息子は4か月頃から生え始め、授乳時によくおっぱいを嘔むようになったため、何度も痛い思いをしましたが、笑顔を見ると許していました。今ではいい思い出です。

さて、20本の乳歯が生え揃うのは、おおよそ2歳半頃とされています。虫歯予防として、離乳食開始と同時に歯磨き開始が推奨されます。はじめは歯ブラシに慣れることから始め、徐々に歯磨き粉を用いたブラッシング、ぶくぶくうがいの練習、仕上げ磨きなど、嫌がるお子さんに行うのは、なかなか骨の折れる作業ですよね。うちは仕上げ磨き時にウルトラマンの動画を見せて、何とかしのいでいました。今でもウルトラマンには感謝しています。

では、なぜそのような骨の折れることをした方がいいのかというと、歯磨きが単純に「虫歯予防」だけではなく、近年、歯周病に起因する全身性疾患が指摘されるようになって、生涯の健康づくりのスタートになると言われるようになったためです。そもそも赤ちゃんの口の中には、いわゆる虫歯菌は存在しません。それが、離乳食開始に伴い、大人が使ったお箸やスプーンを共用することで、虫歯菌（ミュータンスレンサ球菌など）が赤ちゃんの口に入って定着してしまいます。食事後に歯や歯ぐきに残った食べカスに虫歯菌が取りつき、歯垢（デンタルプラーク）と言われるねばねばした堆積物になります。この歯垢の中の酸素が少なくなると、酸素を嫌う菌が増殖していきます。これらの菌が、歯肉を入口として体内に入り込もうと攻撃し、それに対抗しようとして免疫反応を起こすと、歯ぐきに炎症が起こり歯周病に至ってしまいます。この時に産生される毒素が血流に乗って全身に運ばれると、糖尿病、肥満、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こすと言われています。また、妊娠中のお母さんでは、早産や低体重児出産にもつながるとされています。

ご年配の方の中には、そこまで歯磨きする必要はないとおっしゃる方もいますが、小さいころからの歯磨き習慣が、健康に長生きすることにもつながります。今の苦勞がきっと、お子さんへの健康という無形の贈り物になると思います。歯磨きの苦勞もいずれは終わると思っ、皆さん、頑張りましょう！

【参考文献】日本臨床歯周病学会 (<https://www.jacp.net/perio/effect/>)